

第2回特別職報酬等審議会会議要旨（要約）

- 1 日 時 令和5年11月24日（金）午後1時30分～午後3時37分
- 2 場 所 さぬき市役所3階301、302会議室
- 3 出席者 [委 員] 奈良委員、佐々木委員、大部委員、寒川委員、頼富委員、
渡邊委員、網野委員、江崎委員、
[事務局] 間嶋総務部長、井上総務課長、富田課長補佐、小河主査
[関係課] 福澤秘書広報課長、富田議会事務局長、石原議事課長、
佐藤教育部長、安倍教育総務課長
[傍聴者] 2名

4 会議次第

1 議事

- (1) 市長、副市長及び教育長の給料の額について
- (2) さぬき市議会議員報酬の額について
- (3) その他
答申書について

5 配付資料

- ・ さぬき市特別職報酬等審議会について
- ・ 消費者物価指数の推移
- ・ 国会議員の歳費並びに香川県特別職の給料及び報酬
- ・ 合併による特別職報酬等の推移
- ・ 類似団体について

6 会議の内容は、次のとおりである。

発言者	意見概要
事務局	<p>本日は、大変お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。総務課長の井上です。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、令和5年度第2回さぬき市特別職報酬等審議会を開会します。</p> <p>まず、本日の審議会は、委員9名中1名欠席、8名が出席で、さぬき市特別職報酬等審議会条例第5条第2項の規定に基づき、会議が成立していることを報告します。</p> <p>なお、本日は、総務部長、秘書広報課長、教育部長、教育総務課長、議会事務局長、議事課長、総務課 富田・小河も同席しています。</p> <p>また、会議の公開等の取扱いは、第1回の会議で、従来どおり公開とすることが確認されているので、傍聴希望は、入室しています。</p> <p>それでは、開会に当たり、奈良会長から御挨拶をお願いします。</p>
会長	<p>本日は2回目の会議ということで、本来であれば、前回に、市長、副市長、教育長の三役の給料についてまとめ、今日が議員の報酬について審議する予定でしたが、前回、資料の追加要求があり、その資料が前回会議中には間に合わなかったこともあり、今日も改めて審議します。2時間くらいの会議を予定していますが、審議の状況により</p>

	<p>少し前後する可能性もあるので、御承知おきください。今日は、市長等三役の給料と市議会議員の報酬の2つに分けて審議していきます。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。早速、議事に移ります。この後の進行は、会長にお願いします。</p>
会長	<p>それでは、議事に入る前に、前回会議で委員の皆さんから追加の資料が求められていたので、その資料について、事務局から説明してください。</p>
事務局	<p>(追加で配付した資料に基づき説明した。)</p> <p>ここで、前回会議で、平成30年度審議会が議員報酬の引下げが適当と答申した後の議会の対応についての質疑応答がありましたが、その回答が十分でなかったところがあることから、議会事務局から補足の説明があります。</p>
議会事務局	<p>平成30年度の答申後の市議会での対応について、改めて整理、説明をします。平成30年11月の特別職報酬等審議会の答申については、市長から議長に対し議員報酬の額は、引き下げることが適当である旨の答申との報告がありました。</p> <p>また、付帯意見として、今後、議員定数の削減について、更に踏み込んだ検討と議論に基づく適切な取組が進められること、また、議員活動の可視化に努めて、議員活動そのものに対する理解を深めていく取組を進められること、とありました。</p> <p>議員定数については、既に平成30年に定数の一名削減を決定していた上、答申があったのが改選直前でもあったため、次期の議員で協議することになりました。</p> <p>令和元年度以降も引き続き、議員定数・議員報酬について、会派会長会の意見聴取、アンケート調査などにより、議会運営委員会で協議を行い、議員定数を定める要素としての「合議体として意見を決定するのにふさわしい規模」、削減の効果、他市の状況等を踏まえ、議論を進めてきましたが、現状では、議会の運営には20人が必要との意見もあり、結果的には、定数削減までには至っていません。</p> <p>今後は、次期改選に向け、議会運営委員会において、削減を視野に入れた協議を行う予定となっています。</p>
事務局	<p>はい。議会事務局からの補足説明は以上になります。</p> <p>(引き続き、事務局から資料に基づき説明した。)</p>
会長	<p>ただいまの市の説明について、質問はありますか。</p>
会長	<p>ないようですので、議論の中で、随時質問してください。</p> <p>それでは、進めます。本日は、市長、副市長、教育長いわゆる市の三役の給料と、市議会議員の報酬とを分けて、議論します。最初に、市長、副市長、教育長の給料についてを議題とします。これに先立ち、本日、欠席の〇〇委員から、書面で意見が提出されていますので、配付し、事務局で読み上げてください。</p>
事務局	<p>それでは読み上げます。「以下、資料を拝見しての私の意見を提出します。市長、副市長、教育長一据置き。市議会議員一据置き。・類似団体との比較において、あくまでも類似にとどまり、全く同一ではないため、どの数値を見て判断したかを明確に表現はできませんが、概ね、さぬき市の特別職報酬等は、平均的だと感じました。・財政力指数ではなく、支出に占める特別職報酬の割合が高めであるため、支出とのバランスは重視するべきと考えます。・民間事業者は、株主総会等で役員報酬を算定、査定して</p>

<p>会長</p>	<p>いることにならない、市や市議会でも、算定、査定の仕事づくりを検討してはいかがでしょうか。・一経営者としては、人口47,000人の市を統率、代表する覚悟、重責を考え、また、将来の市政の担い手を確保するためにも、相応の報酬は必要と考えます。・議員報酬の据置きについては、一新されて任期の初年度であることも考慮しての考えです。」以上です。</p> <p>それでは、〇〇委員の意見も踏まえ、御意見をいただきたいと思います。また、〇〇委員から、冒頭に資料を配付し、皆さんに説明したいことがあるとのことなので、お願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>お手元に配付した事実確認と意見は、前回少し喋りすぎたので、文章での説明が分かりやすいと思ったものです。また、追加送付のあった資料もエクセルに入力し、順位付けや第3四分位数との比較も書いています。</p> <p>まず、先の資料説明で、財政指標だけで判断するのは若干注意が必要とありましたが、今回の資料の中に相関係数が書かれています。丸っとしたものの相関係数を見るのはあまり良くないのですが、ただ一つ、財政力指数と報酬との関係は0.2という弱い相関がありました。0.2から0.4は、弱い相関があるとされているので、財政力が報酬等に影響を与えないというわけではないということで、さぬき市の財政環境や財政状況について最初に書いています。特に、最後から2行目は、質問も兼ねてですが、基金という市の貯金である繰入金、52億円ぐらいありますが、様々なデータを見ると、もう数年で枯渇してしまうのではないですか。確認したいと思います。要するに、財産は、もうすぐゼロになるというデータが出ています。</p> <p>2番です。そのような非常に危機的な状況にもある中で、令和四年度までの財政健全化策を見ると、今後も厳しい財政状況が続く見通しであることから、社会情勢に応じた取組の見直しや新たな取組を入れるなどという形で、新しい安定的な財政運営を進めていく必要があると、さぬき市自身が提言しています。</p> <p>3番目、この審議会で提案できるような財政健全策として、非常に危機的な状況に陥るということを避けるため、何があるかと考えたら、その計画の6項目ある中の一つが「人件費の抑制」とあり、今回、特別職の報酬等の審議で、そこをしっかりと審議したいという思いがあります。また、類似団体内で比較検討することについて、今回の資料に古い自治省の資料がありましたが、昔、自治省は、特別職の費用が非常に膨大に膨らんで困り果て、この通知を出しました。その通知を出した後も、お手盛り給料で困り、例えば類似団体の資料を使いなさいというような通知も出しています。そういうこともあり、この同一の類似団体の中での比較は非常に大事なことだと思います。</p> <p>4番目、類似団体との比較を用いることの根拠も、さぬき市が前回の審議会で、「分析に当たっては自らの財政状況、他の地方公共団体と比較することが有効ですが、比較対象はその対応から自らと類似している団体であることが望ましい」との見解をこの場所で示したので、この類似団体間の比較は、比較算定には最も有効な判断材料になると思います。</p> <p>5番目、判断に当たって加味する案件としては、前回、三役の給料については据置きになりましたが、これは、当時は類似団体をⅠ-2とすべきだったのが、何か月かの差でⅡ-2で検討してくださいと言われました。Ⅱ-2で検討した結果が前回です。だから、付帯決議で、類似団体が変わったときはもう一度審議をしてくださいと添えてい</p>

	<p>ます。また、議員報酬は引下げの方向でお願いしましたが、なんら審議、論議がなされていらないのではないかと思います。</p> <p>最後に、議員定数については、議会の議会運営委員会で審議されたとの報告がありましたが、ただ、何ら手つかずであるので、今回は、議員定数についても、後で額をお見せし、見ると分かると思うので、かなりはっきりと本文に盛り込んでほしいと思っています。</p> <p>2枚目は、追加資料では順位付けがなかったので、ランク付けをしてみました。少し薄くなっているのが、さぬき市の位置付けです。財政力指数は、52団体の中で下の方になります。実質公債費比率は、下から3番目という状況です。ただ、一方、特別職給料と報酬は高位に属していて、議員報酬総額は、52団体中1位です。また、その原因は、議員定数が5位に位置付けられているものの、議員報酬が3位なので、それを掛け合わせたらトップになるのは、常識的な話です。</p> <p>(2)は、平均値・中央値・第3四分位数、要するに上から四分の一の辺りの上回り額も示しています。さらに、財政力指数は0.39が最頻値であったので、その自治体を拾い出し、益田市、日置市、いちき串木野市とさぬき市を並べています。あと、県内の同一類似団体との比較と、県内市間比較も書いています。エクセルに自分で数字を打ち込んでいて分かったことは、香川県の給料と報酬は、他の県に比べて非常に高い。本当に高い。びっくりするほど高いという感じがしました。</p>
会長	特に市の方に質問はありませんか。
委員	質問は最初の方にしました。基金の取崩しで、健全化策に書かれている数字も見て令和9年までの数字はあって、その次が消えています。ただ、今の流れからすると、その後1年か2年でゼロになる基金なのか、聞きたいと思います。
事務局	ただいまの財政健全化策の基金の状況ですが、現在の財政健全化策のデータは、令和9年度までの計画としています。その中で、財政調整基金を含め他の目的基金も各事業への充当財源として計画の中に盛り込んでいます。委員が言うとおりに、現在と同じペースで基金を繰り入れていくと枯渇という問題も見えてきますが、各種事業を進めていく中で優先順位や、財源の手立てなどを踏まえて、できるだけ持続可能な計画、財政の運営を行っていくように考えています。今の計画は、あくまで9年度までを示す数字となり、毎年の事業内容の精査や、先送りできるものは先送りする等の手法で、基金の残額、財源を確保するようにしています。
委員	私が調べた中では、令和9年で約52億8,000万円の基金が残るのですが、5年度の繰出金が52億4,000万ですから、令和10年にゼロになる可能性が十分にあります。要するに貯金がなくなる、もうそういう市だということを理解した上で、この審議会に臨まないといけない。据置きとの案が出ていますが、本当にそれでいいのですか。さぬき市のことを考えましょうという気持ちでいます。
会長	最初は、市長、副市長と教育長の給料についてですが、御意見はありますか。
委員	案は持っていますが、それはまた、他の方の議論の中で話したいと思います。
会長	そうですね。では、三役の給料について、どなたからでも御意見を求めます。
委員	先ほどの〇〇委員の御意見は、本当に素晴らしいと思っています。それを裏付けす

	<p>るのが、7月4日の四国新聞ですが、東京都の小池百合子知事は、さぬき市長の年間の所得を大分下回っています。1,278万円で、100万円ぐらい市長が多いという報道があります。先ほどの〇〇委員が言った香川県の特別職の報酬がすごく高いと言った裏付けになると思います。</p> <p>また、質問ですが、さぬき市の将来負担比率が空欄になっている箇所がありますが、なぜゼロなのかということをお聞かせください。</p>
事務局	<p>将来負担比率の考え方については、今の基金も含めた現有の資金があることによって、今の負債は返済できるという状況で、実際は負債があるのですが、現有資産の中で償還ができるという状況です。基金等が少なければ、将来負担率が発生するのですが、今はそういう状態にないということで、これが空白になっているものです。</p>
委員	<p>そうすると、先ほどの〇〇委員の言った何十億の基金が令和10年にはなくなるということとの関連はどうですか。</p>
事務局	<p>当然、健全化策の中でも、将来にわたっての返済金額は見込んでいるので、今の基金で償還はしないのですが、収入、収益で支払ができるという見込みになっており、健全化策の中には、その償還部分も踏まえています。</p>
会長	<p>よろしいですか。</p>
委員	<p>今回の追加資料について、事務局が細かく分かりやすく作成したことに感謝します。散布図を見ましたが、さぬき市長の月額がトップになっています。さぬき市の数字を確認すると、ほとんどが上位です。また、議員の支出について、定数20人ですが、類似団体と比較しても、やはり4人ほど多いのではないですか。普通寺市と比較しても、さぬき市は16人が妥当ではないかと思います。そうすると、その4人分の支出が減るので、健全な数字になってくるのではないかと思います。</p>
会長	<p>市長の給料は高いということですか。下げた方がいいということですか。</p>
委員	<p>そうです。これからますます人口が減り、厳しい状況になってくるのは当然のことなので、これを踏まえて給料の額を変更しない限り、それこそ期末手当から退職金に至るまで全てこの基準額で算出されるので、この額を変更しない限り全然変わりません。</p>
会長	<p>では、他の人の御意見も聞きたいと思います。どなたからでも手を挙げてどうぞ。</p>
委員	<p>市長など三役の給料は、やはり今回は高いです。そこで、私の頭の中では2割カットを考えています。一つは、資料にあるように歳入費と歳出費のバランスの悪さや起債です。起債は、確かに今は返金できると思います。償還できますが、未来にわたって何かまた施設を作れば、それがまた起債になります。今、さぬき市は、結構な数の箱ものを抱えていると思うので、メンテナンスや償却にも必ずお金が掛かると思います。私たち市民があまりにも無関心だったというのは、本当に申し訳ないと思っています。つくづく、皆さんはこうやって考えているのに、私たちは無関心だったな、申し訳ないというのを一番感じました。また、私自身もこの金額が高いと言っているが、本当にこの金額自体が高いかと言えば、私は決してこの金額が高いとは思いません。逆に、この金額を生み出せない私たち市民の協力がなかったことも悪かったと感じます。なので、この金額に戻せるように、頑張っていきたい。私たちも頑張らないといけないと</p>

	<p>思います。だから、空家問題、治安、防災消防も含め、多くの費用が掛かっていますが、削減できるところは本当はないのでしょうか。もう一度見直していくことも大事だと思います。例えば、学校の跡地にコストコなど大きな企業が入れませんか。これからは、箱物を2つ3つ作るのではなく、一つに集約して、介護施設や育児関係施設を一緒にするなど、少しでも未来が明るいものにできないかと考えていくべきとも思います。なので、結論としては、今回は2割削減との結論を出しました。</p>
会長	<p>給料額は、他に比べて高いけれど、政策や結果で、それに見合う仕事をしてほしいということですね。</p>
委員	<p>はい、ふるさと納税とか。また、見える化をしてほしいです。こうして審議していることも、市民は見たがっていると思います。私も、実際見ようとしたが、ホームページでは分かりませんでした。できればフェイスブックのようなものを使うことはできませんか。それだと確実に見られます。よろしくお願いします。</p>
会長	<p>市長は、フェイスブックやインスタグラムはやってますか。</p>
事務局	<p>やっていません。</p>
会長	<p>分かりました。</p>
委員	<p>事務局から事前に送付のあった県下8市の状況並びに類似団体52団体の状況に関する資料に目を通しました。この類似団体52団体については、各団体それぞれ長い歴史も社会情勢も全く違います。そのため、私は、類似団体とはあまり比較ができないと思います。県下の状況、8市の状況が、一番参考になるのではないかと思います。さぬき市の場合は、合併を経験し、それから20年の歴史があります。人口は減少していますが、これから市長を目指す、若者世代や子育て世代、高い志を持って市政を良くしようとする方々に夢と希望を与えるためにも、市長、副市長、教育長の給料の据置きを提案します。三役といっても市長の額の方針が、副市長、教育長のベースになるものと思います。一般職職員に関しては人事院勧告があり、今のところ毎年アップとのことであるので、特別職の給料と一般職の差が詰まることになっていきますが、据置きが適当だと思います。</p>
会長	<p>はい。ありがとうございました。</p>
委員	<p>一般職職員は、人事院勧告により初任給で1万3千円上がっています。そうしたことから、当初は、三役の給料のアップを考えていたのですが、今は迷っています。合併当時の財政調整基金のことを思えば、確かに今は努力された結果であると思います。また、5町が合併して、人件費や三役・議員の削減について合併の成果は出ています。しかし、合併当時には想像できなかった様々な新たな問題等によって、今のような現実になったものです。それを、三役や議員の報酬の減額でカバーしよう、額を上げる、20パーセントカット、下げるという議論ではなく、これだけの報酬を渡してどれだけ努力してくれるかを考えるべきです。また、そのように頑張ってくれる人を選ぶ市民に期待したいと思います。したがって、現在の人に対する評価ではなく、市長になり、副市長になり、教育長になり、議員になって、さぬき市を良くするために力を出してくれる人に期待したいという意味で、据置きが適当と考えます。</p>
会長	<p>他に発言してない方は、意見はありませんか。</p>

委員	<p>市長、副市長、教育長の給料について、類似団体と比べると高いとありましたが、類似団体でも、例えば面積や人口なども考慮すべきだと思います。資料の11ページに、人口一人当たりの市長の平均給料月額割合がさぬき市長は19.15とありますが、他と比べてこれが高いかという、それほど高くはないと思います。また、人事院勧告により一般職の給与が上がったとのことですが、この審議会は、下げることを審議するものですか。状況に応じて、時には給料を上げることも議論しなければならないと思います。今の給料が高いので下げるという議論は、往々にして見られます。人事院勧告により一般職の給与が上げるなら議員報酬も上げるのが妥当か否かという検討をしなければならないと思います。</p> <p>したがって、人口や面積、それとの比率を考えると、必ずしも高いとは思わないので、据置き、又は人事院勧告は引上げとのことなので、少しぐらい上げてよいと思います。</p>
会長	<p>では、まだ発言のない委員に発言をお願いします。</p>
委員	<p>以前、私がこの審議会に出席した時にも、先ほどのような、これから議員になりたいという人が増えるようにとか、報酬を減らすと、何のために議員になり、しんどいことばかりで報酬が安いようでは、議員のなり手がなくなるのではないかという意見がありました。これからの活動に期待し、良い人材がどんどん出てくることを期待して据置きとしたと思います。しかし、それ以降、見る限り聞く限り、期待したことは全く生かされていません。この資料の中で、自分で分かる範囲で判断するしかないのですが、やはり高いです。〇〇委員が作った資料を見てびっくりしました。6位だの3位だの1位だの、驚くほど高い。高すぎます。それに見合った仕事ができているかと言えば、仕事してないと思います。まして、市広報に掲載されていたお悔みとおめでたの人数を見ても、子どもの出生率が本当に下がっています。令和10年には、私も後期高齢者に少し手が掛かる年齢になるのですが、この出生率と高齢化を見ると、今は、借金がなんとかなっているかもしれませんが、孫やひ孫の代になって、大変なことになったということになりかねないと思います。今のうちに何かやらないと、できることからやっつけていかないとダメだと思います。では、そのために議員やみんながどれだけ努力してくれているかと言えば、努力の跡が見られないと私は思います。なので、何パーセントなどという金額や数字は、私には分かりませんが、据置きとかアップというのは、絶対にあり得ない話だと思います。</p>
会長	<p>今の発言は、議員のことが混在していましたが、市長、副市長、教育長も下げるべきということですか。</p>
委員	<p>それプラス議員については、何が何でも下げてほしいです。</p>
会長	<p>はい。2つの議論は分けてお願いします。今のお話では、もう少し努力するのであれば、という話でもなさそうですね。</p>
委員	<p>いや、もう少し努力するのであればこのままでという話は、もう、とうの昔の話です。そんな議論ばかりで、では、どんな努力したかと言っても何もしていません。</p>
会長	<p>それについては、他の委員も、可視化するよう改善すべき、見える化をしてほしいとの意見もありましたね。</p>

委員	<p>その見える化で言えば、議員の中には、自分で冊子、新聞を作っている方もいますが、それ見ても、自分の地区だけしか考えてないと思います。票に結び付く仕事しかししないのだなという人が結構多く、さぬき市全体を見ていないのかと言いたい議員がたくさんいます。</p>
会長	<p>分かりました。</p>
委員	<p>これまで、委員の中には、据置きや引上げの発言がありましたが、その方に対して確認します。また、市にも確認したいのですが、まず、類似団体比較ではなく、県内比較がよいと話がありましたが、事務局に聞きます。前回の審議会では、類似団体比較が適切との指導がありました。ただ、Ⅰ-2でなくⅡ-2で比較するよう言われ、その結果、据置きという結論に甘んじた経緯があります。その方針が変わったのかということが一つです。</p> <p>また、類似団体内の比較で、一人当たりになると妥当ではないかと言いますが、人口はもうすぐ確実に減ります。私は、教育関係のことしか分からず、また、文理大学の出身なので、このことは申し訳なく思うところですが、令和7年度から、教職員含め1,500人の昼間人口がいなくなります。また、夜も下宿している750人ぐらいが、数年でいなくなります。昼間人口も夜間人口も1,000人前後がいなくなるのです。少ない数字の率なので、あっという間に数値は上がります。だから、人口比較で給料額が妥当だというのは、もう1、2年もすれば、なくなると思います。</p> <p>次に、町村合併で効果があったことは認めます。その効果は数字として表れていますが、それはもう終わりました。効果があったのは終わって、今はもうじり貧傾向です。その次のじり貧傾向が、どんどん人口減少や労働力人口の減少が進み、市が提出した資料の数字を見る限り、明るいさぬき市の未来というものが、なかなか見えてきません。本当にこのままでいいのか、その中で給料は妥当なのかと考えたら、据置きも、もうままならないではないですか。財政健全化策の中に「人件費の抑制」が盛り込まれていますが、これは、三役給料と議員報酬は除外してよいというものですか。市の方針が変わったのだとしたら言ってください。</p>
事務局	<p>まず、前回の審議会において、類似団体の区分を会議時点の類型で見てくださいという注釈があったことは、承知しています。今回については、配付資料のとおり、Ⅰ-3という類型により審議していただくということで、そうした資料を準備したものです。また、財政健全化策での人件費の抑制ということについては、委員の言うように三役給料や議員報酬、そして一般職の全体が財政に影響を与えるので、そこは総体的に見て判断していただければと思います。</p>
会長	<p>では、〇〇委員としては、下げるべきということによろしいですか。</p>
委員	<p>今の状況から言って、据置きという概念が生まれないというか、数字を打ち込んでいて、そう思ったので、据置理由を色々言われても理解しがたいです。</p>
会長	<p>下げるということですね。</p>
委員	<p>そうです。</p>
会長	<p>では、御意見をお伺いした範囲では、確実に据置きという方が3名と、1名は防災面、介護や育児、経済面などにおいて給料に見合う仕事をし、もう少しその仕事の内容</p>

	<p>が見えるようにすることを前提に、据置きもやむを得ないという感じでお聞きしました。</p>
委員	<p>いえ、据置きではなく下げたい。今回だけは下げてほしい。断定的に言っています。</p>
会長	<p>仕事や見える化をしても下げるべきということですか。</p>
委員	<p>はい。その代わり、今回下げることによって、次回からは、私たち市民も挙げられるように努力します。今回だけは、少し歳出と歳入のバランスが心配ということや、将来のこともあるので、1回分だけは下げてほしい。</p>
会長	<p>では、3名が据置きで、あと4名が、具体的な金額はともかく下げるべきということですね。</p>
委員	<p>書面意見があるのではないですか。</p>
事務局	<p>〇〇委員の意見があります。</p>
会長	<p>分かりました。欠席の〇〇委員さんの意見が据置きでした。そうすると、4対4ということになります。会長とはいえ、私も委員の一人なので発言権はあると思います。私も、先ほど、皆さんの意見にもあったように、全体として高いような感じも受けましたが、市長の給料を下げるか否かとなると、県内の市長との比較とか、更に今までの経緯とかあり、私としては、皆さんの御意見はよく分かったので、それらの意見を踏まえ、据置きとしたいと思います。</p>
委員	<p>いや、本当にそれでさぬき市は大丈夫ですか。県内での比較をすべきとの意見がありました。同じI-3の善通寺市は75万6千円です。90万ではなく、75万台です。それでもよいのですか。本当に審議会として据置きというのが、将来のさぬき市の財政に対してよいのかという発言があったことは議事録に残しておいてください。</p>
会長	<p>分かりました。</p>
委員	<p>私も同感です。</p>
会長	<p>〇〇委員、〇〇委員、〇〇委員の意見も、答申の中では触れるという条件付きで、据置きということにさせていただきます。</p>
委員	<p>本当に据置きでいいのですか。</p>
会長	<p>それはやはり審議会ですので、結論を出さないといけないので、最終的には多数決というのもやむを得ないと思います。</p> <p>それでは、あと残り時間が1時間弱になったので、市議会議員の報酬額について、どなたからでも御意見をお願いします。</p>
委員	<p>まず、前回依頼していた合併前後の予算において、どの程度の効果があったのか、お聞きします。もう一点は、やはり、5町が合併したということも考慮すべきだと思います。合併には利点もあれば、悪い面が出た部分もあります。また、市長等三役には退職金があります。しかし、議員には退職金はありません。従前から退職金はなく、その代わり、合併前は、議員を3期12年務めれば、国民年金より少し多いくらいの微々たるものですが、議員年金がありました。ところが、実は、議員年金は、全国的な合併により議員数が減り、掛け金が少なくなったものの受給者は多いままなので、財政が成り</p>

	<p>立たなくなり、平成23年の6月に議員年金は廃止されました。その上で、議員の報酬を減らせ減らせと、皆さんも市民も言いますが、それらの皆さんは会社勤めで、厚生年金もあると思いますが、議員にはありません。高い高いと言われながら、わずかながらの議員報酬をもらっていますが、果たしてそれで安心して生活できているのかと思います。先ほどの議員のなり手がいないという話とも絡んでくると思います。そういう面で、合併までの金額と、合併後にどれだけ抑制効果があったかということも議論し、本当に議員の報酬が高いのか、これを下げなければいけないのかということを考えるべきだと思います。議員は何もしないとか、議会に出席して1日の日当がいくらになるといったことばかりが先走って議論すべきでなく、やはり、議員の中には、まじめにコツコツと市民の要望を聞いて、議会で一般質問をし、それを実現させているわけですので、その辺りも見て、審議すべきだと思います。そこで、合併前後でどうなったかの説明をお願いしたい。資料の表についての説明をお願いしたいと思います。</p>
会長	〇〇委員は、据置きということによいですか。
委員	はい、据置きでお願いしたい。
事務局	ただいまの質問については、資料の9ページに、合併前後の比較をグラフで示しているところですが、その内容としては、三役も入れた合併効果は、2億5千万少しということになります。
会長	いいですか。
委員	はい。
会長	では、〇〇委員。
委員	結論から言うと、私も、議員報酬は、据置きを提案します。資料を見ると、国会議員並びに香川県議会議員等も据置きが続いています。また、今回、4月に改選があり、新人の議員が5名誕生しています。こうした新人5名は、このさぬき市の人口減少に歯止めを打つ対策や、これからのさぬき市の未来の青写真を描いて当選し、さぬき市をより良いまちにと頑張っています。そういう人たちのためにも、据置きを提案するものです。議員報酬は、ただ下げればよいというものではなく、魅力のある議員活動が大事です。私は、若者や子育て世代の方々が、高い志を持って当選されているので、据置きだとしても、減額に値するものだと思います。人事院勧告のことも含めて、据置きを提案します。
会長	はい。では、他に御意見をお願いします。
委員	<p>人事院勧告の話が出てきましたが、これもはっきりさせておかなければいけないのですが、議員報酬を審議する時に、かつての自治省の話に、一般職職員の給与は、あまり重視してはいけないというのがあったと思うのですが、その方針が変わったのか、質問します。もし変わっていないのであれば、あまり人事院勧告の話は用いる必要はないと思います。別途考えたらよい審議内容だと思います。</p> <p>さらに、議員報酬が妥当かどうかについて、私の資料の2枚目の左から2つ目の議員報酬総額の欄を見てください。この820万円は、類似団体の中でもトップです。更には議員報酬等の順位も3位で、それも財政力指数が31位にもかかわらずです。これで据置きが妥当ですか。その理由が分かりません。また、今、問題になっている議員</p>

	<p>のなり手がいないというのは、市町村の市ではなくて、町村です。町村では報酬が安すぎて、それは20万とかそういう額での話です。41万もらっている市で、なり手がいないはずがない。そのことも合わせて議論すべきだと思います。また、途中で定数は16人が妥当だという発言がありましたが、I-3の類似団体の中で16人の団体は14団体、18人が10団体くらいです。16人が相場、I-3の現状です。例えば、定数の話はまだ出ていないですが、定数で4人減らすと、期末手当も含め総額2,700万円を超えて黒字になります。</p>
委員	<p>4,000万円だと思います。</p>
委員	<p>はい、そんな感じですから、一人減らすと、かなりの額が市に還元されます。その人数は、もう一回、そういう場で審議してほしいです。今の議員の報酬額の累計が、類似団体内での順位ではびっくりする額だということだけは知っておいてほしいと思います。</p>
会長	<p>〇〇委員は、議員の報酬も下げるべきだということですね。</p>
委員	<p>下げるべきだと思います。</p>
会長	<p>議員定数を減らして、総額が減ることになってでもですか。</p>
委員	<p>いやいや、個人的には、前回にそういう提案をしても一切審議されずに議会運営委員会内で妥当ではないとされて終わったので、もうそんなことを言っても効果がないと感じています。16人や17人にしてくださいと言っても、審議されるかどうか分からないことにはあまり深入りしたくないです。</p>
会長	<p>では、議員定数と切り離して、報酬額は下げるべきということですね。</p>
委員	<p>はい。</p>
会長	<p>〇〇委員は、いかがですか。</p>
委員	<p>今、〇〇委員さんが話したことは、私もチェックしていますが、資料12ページのさぬき市の歳出のうちの議員報酬等の額が、類似団体内でトップです。1億3,200万とあり、トップです。財政力は低いのに、議員報酬や市長給料は、全て高いです。国民感覚、市民感覚から見て、高すぎると思います。東京都知事のことは先ほども言いましたが、人口規模が全然違う東京都知事でも、さぬき市長より低いです。それを考えると、しっかり審議しないといけないと思っています。</p>
委員	<p>財源力について、市が発行する資料に、あと5年、令和9年には、実質公債費比率が21パーセントになるとありました。21パーセントという数値は、18パーセントを超えているため、地方債の発行に国の許可が必要な団体ということになりますね。</p>
事務局	<p>はい。</p>
委員	<p>21パーセントというのは、非常に悪い数字です。</p>
事務局	<p>今のお話は、財政健全化策の話ですか。その数字になると、かなり悪い数字です。</p>
委員	<p>そういうことも考えないといけません。そういう将来が見えているという話です。</p>
委員	<p>疑うわけではないですが、そういう資料が出ているのですか。</p>

事務局	<p>確実に21パーセントになるという話ではありません。そうならないように、健全化策を進めていくという計画であることは、念頭に置いておいてください。</p>
委員	<p>そんな数字になるはずがありません。</p>
会長	<p>今の数字について、事務局は確認してください。</p>
委員	<p>確かに、合併する前は、合併特例債があり、借入れした方が有利だという財政運営がありました。そのため、その時は上がったとしても、7割は普通交付税算入されるので、21パーセントという数字は出ないはずです。新しい事業といっても学校の統廃合や庁舎ぐらいなので、合併時でも、その数字にはなっていないはずです。</p>
事務局	<p>このことについては、その資料が手元になく、現在、確認中です。</p>
委員	<p>さぬき市が出した数字です。この数字を見ると、本当に大丈夫なのか、令和10年にはどうなるのかと思っています。</p>
会長	<p>はい。〇〇委員、何かありますか。</p>
委員	<p>先ほど、議員について意見を述べましたが、今は大丈夫でも、この審議会には、令和9年、10年、それ以降のことを考える必要があるのではないのかと言いたいです。</p>
会長	<p>下げるべきということですね。</p>
委員	<p>はい。</p>
会長	<p>では、〇〇委員。</p>
委員	<p>結論から言うと、引下げに賛成したいです。理由は、先ほどの危機的状況でもあるという話も考慮に入れますが、これぐらいの報酬を出してあげたいという気持ちは十分にあるものの、現在の人数は多すぎて、どう考えても、この市にとって20人は負担としか思えません。新しい人が出てこないと言いますが、見える化をしたら、居眠りする人や遊んでいる人が全部見えるようになります。それを見て、市民がまた投票するかといえば、絶対にしません。活動が見えるようになれば、状況も変わります。だから、もう一つ突っ込んでいったら、先のことを、私たちの子どもたちの世代のことを真剣に考えたら、このままではダメだと思います。これを変えていかないとはいけません。歳入が増えるようなことを本当に真剣に考えていけば、このぐらいの報酬は、何でもないというくらいになると思います。一番最初に上げたいのは、職員の給与です。この人たちは、こんなに一生懸命働いているのに、あの人たちよりも働いているのに、なぜ低いのかと思います。そっちの方が問題です。議員の数を減らしてください。</p>
会長	<p>前回の審議会でも、議員定数を減らすか否かについては話がありました。今回のこの審議会に、その審議が求められているのかについて確認したいのですが、議論するのは構わないですか。</p>
事務局	<p>前回と同様に付帯意見としてなら可能だと思います。</p>
委員	<p>議会の見える化について、県内での類似団体である普通寺市を見ると、政務活動費の領収書や収支報告書が、公表されていました。個人ごとの領収書も市民に見えるように、ホームページに載っていました。さぬき市では、そういうことが一切ありません。なので、市民が知る術がありません。三豊市もやっているようです。他市町でも、</p>

	<p>どの議員がどの程度の政務活動をしているかが見えるようになってきているので、さぬき市でもやってほしいと思います。</p>
会長	<p>定数に関しては、〇〇委員も減らすべきという話でしたし、〇〇委員も同じですね。</p>
委員	<p>減らします。類似団体の善通寺市は、16人です。他府県の類似団体を見ても、同じような人口規模だと、静岡県の伊豆の国市が17人、愛知県の岩倉市が15人です。また、人口は少ないものの、人口密度が似ている兵庫県の相生市は14人です。やはり20人は多いと思うので、節約しないと、さぬき市の財政は、破綻していくと思います。</p>
会長	<p>他に意見はありますか。</p>
委員	<p>私は市の消費者団体の会長をしており、元市議会議員が副会長をしています。その方に、議員定数のことを質問したところ、常任委員会が3つ、特別委員会が1つの4つの委員会を1人が複数を掛け持ちすれば、十分やっていけるとの回答でした。皆さんも参考にしてください。20人にこだわる必要はありません。人数減らさないと、さぬき市の財政は破綻していきます。</p>
会長	<p>ここで、事務局から、先ほどの質問の回答があります。</p>
事務局	<p>先ほどの〇〇委員の話で、財政健全化策の中の実質公債比率が21パーセントあることについては、何も手立てしなければ、このように悪化してしまうという予測です。だから、悪化させないように、放っておかず、財政健全化策を策定し、その下に記載してある8.1という数字に向けて、策定した健全化策に取り組んでいくというものです。</p>
委員	<p>これを放っておいたらこの数字になるという話ですね。だから、審議会で、今回の内容も「人件費抑制」でカバーしたらどうかという話です。今のままだと恐ろしいです。</p>
事務局	<p>そうです。何もしなければということです。そうならない計画を立てています。</p>
委員	<p>先日、さぬき市ケーブルテレビを見ていました。今のさぬき北幼稚園の園児は2人ですか。その園児2人と、地域のボランティアが寄って、芋ほりと焼き芋大会をし、運動会をしていました。それを見て、とても愕然としました。私の家の近くの長尾幼稚園も園児が十数人です。私は幼稚園の元教諭です。志度幼稚園新築される1年前に、さぬき南幼稚園にいました。その当時に、あれほど大きな建物が建てられています。また、各地で大きな幼稚園が建てられていますが、子どもの数はどんどん減っています。それらの建物の維持のために、どれだけ支出をしていますか。職員の数も減っているという話もあるようですが、小学校はどんどん統廃合が進んでいますが、幼稚園はどうなっていますか。</p>
会長	<p>教育委員会の関係になりますが、分かりますか。</p>
事務局	<p>教育委員会ではなく、健康福祉部の幼保こども園課になります。</p>
会長	<p>状況を調べて、別途、〇〇委員に報告してください。</p>
委員	<p>これから高齢者が増え、その高齢者が、入る施設に入れず、順番待ちという状況なのに、子どもの幼稚園がガラガラで、あんな立派な施設がある。それら高齢者向けの施設に変えるような柔軟な施策をしてほしいです。</p>

会長	市議会議員の報酬については、先ほどと同じ状況だと思いますが、据置きが3名に加えて〇〇委員。下げるべきという方が4名です。ここで、私自身の意見を言うのはなかなか難しいですが、意見の大勢としては、前回の審議会でも、私が委員会全体をまとめた経緯もあり、その時も引き下げるべきという答申を行いました。その答申後の取扱いについては、先ほど議会事務局から報告がありましたが、そのとおりにとはなっていないという経緯もあることから、どちらかといえば下げるべきという方向で、取りまとめたいと思います。
委員	私としては、できれば少しでも上げてあげたいと思います。それは、先ほどの事務局説明では十分でないと思いますが、定数削減については、合併前は66人だったのが、平成15年では26人、順次減らし、現在は20人になっています。ここではこの定数については議論すべきではないですが、議会の中からは、今回、定数を減らそうとする声も聞こえています。そうしたことも踏まえ、据置き又は引上げとしてほしいと思っています。費用面では、合併前は3億7,836万円を要していたのが、合併後は2億5,188万円をも削減しており、合併により議員数と議員に係る費用が削減されています。これが20年近くなので、相当の金額が削減できていると感じています。そのため、据置き、又は引上げがよいと思います。
会長	類似団体との比較だけが全てではないですが、他の類似団体との比較では、さぬき市の報酬月額、上位から2番目ですね。人口1人当たりでの比較もありました。
委員	類似団体でいうと、善通寺は、おそらく合併していません。合併したという経験は大きなポイントだと思うので、類似団体だからというだけでなく、そういうことも考えるべきだと思います。
委員	確かに、そういう面では合併は成功だったと思います。ただ、それは、当時、合併しないとやっていけないのが見えていたから合併せざるを得なかったのです。議員をはじめいろんなことが将来的に減るだろうということで、予算の抑制というメリットを考慮して、賛成反対いろいろな意見がありました。私はというと合併には賛成しなかったのですが、その効果は数字として出てきているので、それは認めたらいいと思いますが、ただ、そのことと、これから先のことは、切り離さないといけないと思います。さぬき市そのものが、次の段階において、5町合併の前の立ち行かなくなる状況と同じことが、今、将来のさぬき市に起ころうとしている状況ではないかということだけは確認しておかなければいけないと思います。
会長	事務局から、今後、方針が決定し、答申書を作成するに当たって参考にしたいので、少し確認させていただきたいことがあります。
事務局	先ほど、さぬき市の議会費と歳出のうち議員報酬等が類似団体の中で突出しているとの話がありました。一方で、歳出総額に対する議会費の割合や歳出総額に対する議員報酬等の割合を見ると、26位や20位という状況であることについて、整理しておく必要はないでしょうか。
会長	具体的に言うと。
事務局	議会費や議員報酬の額は高く、類似団体の中での順位に触れるといった場合、一方で、資料12ページにあるように市の歳出総額に占める議会費の割合が26位、歳出

	<p>総額に占める議員報酬等の割合では20位であることにに関して、考え方の整合性を整理しておく必要があるのではないかと感じたため、念のために確認したものです。</p>
会長	<p>何かありますか。</p>
委員	<p>類似団体の中で真ん中辺りということについては、「歳出に占める」ということなので、私の中では除外しています。なぜなら、「歳出」は、歳入あつての歳出で、基金を取り崩して、膨らませて歳入の不足分を補っている。そういう「歳入」での比率なので、私の中では、それを重視するという概念が発生しませんでした。</p>
事務局	<p>分かりました。では、一方で、地方税収入、歳入に対する議会費の割合や、議員報酬等の割合では26位又は24位という結果も出ていますが、それについてはどう整理すればよいですか。</p>
委員	<p>いずれも中央値、平均値。中央値で、普通の真ん中だという数字でしかない。普通の数字としか言いようがないです。</p>
事務局	<p>中央値なので、さぬき市は中央に位置するという意見が返されることが危惧されるのではと思った次第です。</p>
委員	<p>では、中央値にしてくださいというのなら、最初の据置きとした市長の給料も中央値にしてください、議員も中央値にしてくださいという議論になってしまうので、私の減額案の中には、中央値というのはありませんでした。</p>
会長	<p>皆さんの意見をお聞きすると、どちらかといえば市民目線で見た場合には、やはり高いのではないかという意見が強いと思いますので、全体の意見としては、引き下げる方向で調整したらと思います。〇〇委員、〇〇委員、〇〇委員にも御意見はあると思いますし、〇〇委員には改めて聞けませんが、前回の経緯を踏まえ、引き続き、引き下げるべきとまとめたいと思います。</p>
委員	<p>三役を据置きにするのであれば、議員も据置きにするようまとめてほしいです。</p>
会長	<p>今の〇〇委員の御意見も、そのような意見があったことは十分触れていきたいと思えます。〇〇委員の合併前との比較のことや、〇〇委員の意見にも触れていきたいと思えます。</p>
	<p>引き下げる金額は書かないということでよいですか。</p>
委員	<p>さぬき市をこのような状況にしたのは、議員が悪いのではなく、長が悪いです。結果として長が責任を取らなければいけないところを据置きにしたのです。</p>
委員	<p>先ほど、〇〇委員が、市長ら三役が減らないのに、議員だけが減るのはどうかというのは、本当にそう思います。だから、議員を減らすのであれば、市長らも減らさないとダメです。類似団体の中で、さぬき市の実質公債費比率は、ワーストですよ。資金繰りが悪いということで12.4です。財政力指数で見るのはどうかという説明があったので、私もそこでつまづいてしまったのですが、香川県の8市の中でも、さぬき市の財政力指数は最後から2番目で、実質公債費比率は一番ビリです。それなのに市長の給料は高いです。職員の皆さんが一生懸命仕事をしているのは分かりますが、職員の給与にしても、ラスパイレス指数を見ると高いです。8市の中では高松市に次ぐ順番です。そういうことも考慮してほしいと思います。</p>

会長	ありがとうございます。市長、副市長、教育長については、既に据置きと決しましたので、今のは、意見として受け止めさせていただきます。市議会議員の報酬については、引下げとの結論にしたいと思います。
委員	〇〇委員の言うことも分かりますが、何度も合併の話をしてしまいますが、議員は、合併前と後とでは、よく努力していると一市民として思っています。なので、自覚を促すような表現を入れてはどうでしょうか。自覚というのは、議会自らが自主的に行うことです。据置きと書き、それを自覚することに期待したい。議会、議員は、財政難であることは分かっています。10年後、20年後の今後の財政状況がどうなりそうかについて、大体感づいているので、引下げという言葉ではなく、それを自覚させるような、分からせてあげるような表現にしてほしいと思います。
委員	では、据置きとするのであればね定数を減らすべきです。
委員	それは、議会の中で、いつも議論しています。先ほど話に出た元市議さんを筆頭にしていました。
会長	〇〇委員は、議員定数を減らすのであれば、据置きでもよいですか。
委員	それだけ総額が変わってきますからね。市長や三役を減らさないのに、議員だけ減らせというのはちょっと。人数を減らせば節約になります。
委員	そうです。議員には合併前のことを知っている人も多いでしょう。現実的な問題も考慮しながら、協議をするよう、自覚を促す表現で終わらせた方がよいと思います。
委員	前回、「自主的に」という文言も盛り込み、自分ら考えなさいとしましたが、一つもやってくれなかったです。だから、私としては、今回は、議員定数も本文に入れることを要望します。本文に入れるかどうかはこれからの審議ですが、付帯決議だけで、議会の頼みだけで、今回、市長が議会に下げるよう報告するかどうか疑問です。市長据置き・議員引下げというのは前回と同じです。では、これで下げてくださいと言ったところで、1回目のショックで、答申どおりになるのか、きちんと議会に報告してくれるか不信感があります。だから、「自主的」という言葉は、付けても付けなくても同じです。何の意味もないことが、前回分かりました。
会長	〇〇委員は、先ほど引き下げと言っていましたか。
委員	いや、引下げに入れてください。なぜなら、総額が問題ですから。
会長	だから、総額を下げるのであれば、議員定数を減らし、総額が引き下がれば報酬額は今のままでも、という意見ですか。
委員	いや、でも、やはり引下げという、その仲間に入れてください。
会長	そうですか。
委員	先ほど、答申の中に議員定数のことも、とありましたが、令和元年度には1人減少しています。やはり議会も努力はしていると思います。だから、引下げという言葉ではなく、今回は据置きだけが、定数減少は、もう少し努力してほしいという文面にしたらよいと思います。
委員	そんなことは無理です。前回の結果で分かったのです。今回で私は2回連続で委員

	<p>をしています。前回の結果を見たら、もう絶対にその言葉では、今回は妥協したらだめだというのを経験しました。もう無理です。厳しく言わないとだめです。</p>
委員	<p>一つは、先ほど、議員定数を減らす場合、委員会を兼任したらいいという話が出ましたが、委員会を兼任したら、勉強ができません。ただ行って、聞くだけです。予算にしろ何にしろ、議会の賛成なくしては、何もできません。そういうことを踏まえると、議員定数は、とても重要です。減らせ減らせと言って、減らしてしまっ、委員会で十分な審議ができるかといえば、難しいと思います。2人や3人、委員長を入れて4人で、あの議論をするというのは、本当に大変だと思います。やはり、ある程度の議員数は、必要だと思います。</p>
委員	<p>類似団体の人口密度が似た団体だと、定数が17人、15人、14人となっています。</p>
委員	<p>そこには委員会数はいくつありますか。</p>
委員	<p>委員会の数までは分かりません。</p>
委員	<p>人口に対しての委員会数にもよると思います。そのようなことも調べておかなければならないと思います。委員会数がいくつ必要で、1つの委員会のメンバーが何人ぐらい必要かということも考えて、議論しなければならないと思います。</p>
会長	<p>議論も出尽くしたと思いますし、皆さんの議論もほとんど平行線に近いですね。私と欠席委員を除いた7人で決を採ることにします。それでは、据置きが3名、引下げが4名ですので、この審議会としては、引き下げる旨の答申を行います。</p>
委員	<p>先ほどの市長ら三役のときは、〇〇委員の数も入っていましたが。</p>
委員	<p>それについては、4対4となり、更に会長裁決で据置きという理解だと思います。</p>
会長	<p>それでは、その他について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、次第の3、その他について、今後の答申書に関して説明します。この度、市長、副市長、教育長については据置き、市議員については引下げという結論が出たことから、この結論とこれまでの議論の内容を踏まえて、答申書を作成していきます。まず、事務局において答申書の案を作成しますが、その内容確認について、委員の皆さんとはメールでやり取りをする案と、別途、会議を設けて、その場で詰めるという方法のいずれで行えばいいですか。</p>
会長	<p>メールでのやり取りが可能な人にはメールで、不可能な場合は、郵送しかないですね。</p>
事務局	<p>では、いずれにしても、事務局案を作成した後は、各委員と個別にやり取りするという事でよいですか。</p>
会長	<p>はい。前回もそうでした。</p>
委員	<p>質問があります。まず、答申書に関し、途中で話題に出た議員定数の削減については、本文に入れるのですか。それとも付帯意見ですか。</p>
会長	<p>それについては、先ほど確認したとおり、本審議会は、議員定数については諮問されていません。</p>

委員	ただ、議論の中で議員定数との関連があったという言葉は入りますよね。
会長	それは、私も入れたいと思います。
委員	次に、要望です。前回の答申で、それがごくごく参考にされた程度だったということ をなんとか防ぎたいので、必ず、議員報酬等については、「議会で審議をすること」と いう文言を入れてほしいですが、それは可能ですか。
委員	それが希望なので可能だと思います。
委員	要するに、軽視するなよということを答申書に盛り込んでほしいです。
会長	それについては、具体的な文言を見て、御判断ください。
事務局	わかりました。なお、法的にそれが可能かどうかというのは別にあります。
議会事務局	議員定数については、報酬の額を含め、議会の本会議に、議案として上程する場合 は、改正を前提とした条例改正議案をとして上程することになります。先ほども説明 しましたが、本市では、まず、その前段として議会運営委員会において、各党派の意見 を聞いたり、各議員にアンケートを取ったりするなどして議論を行い、その結果、条例 改正を行う議案として本会議に提出する必要があるとなったときに、本会議で諮られ ることになります。したがって、市長から答申内容の報告を受けた場合、まずは議会運 営委員会で、定数等に関する方針について協議、検討するという機会を設けるよう になります。
委員	段取りとしてはそうだと思いますが、そこでストップされたのが前回なので、それ を一步超えるような案文にしてほしいと思います。
会長	そうしたことも踏まえて案文作ってもらい、〇〇委員の同意が得られるかどうか分 かりませんが、できる範囲内で対応したいと思います。
事務局	要望として答申書の中では触れるようにしたいと思います。ただ、本会議に上程さ れ、審議する案件かどうかについては、少し別の話になるのではないかと思います。し かし、そうした意見があったことは残ると思います。
会長	最終的には、市長又は議会に委ねられるものだと思います。 長時間にわたり、お疲れでした。十分かどうか分かりませんが、忌憚のない意見をお聞 かせいただき、ありがとうございます。議長として十分な調整ができたかどうか、反省 していますが、皆さんの決議として、市長、副市長、教育長の給料額は据置きで、市議 会議員の報酬は引下げが適当という答申にしたいと思います。ありがとうございました。
事務局	奈良会長、ありがとうございました。そして、委員の皆さんも長時間の御審議ありが とうございました。まだ答申書の作成作業が残っており、それについては、メール等 でお知らせしますので、その際には、御意見をお返しく下さい。よろしく願います。 それでは、これをもって令和5年度の第2回のさぬき市特別職報酬等審議会を閉会 します。